

介護の寺子屋

2019

認知症を考える

17

鈴木大悟

いきがいクリエイション企画室

高齢者の7人に1人が認知症と推測される現代。私たちの仕事の中でも対応に困惑したり、あるいは職員のストレスとなり、ひいては介護環境の悪化に繋がるリスクを増加させます。

今回は認知症について「記憶のメカニズム」と共に掘り下げ、理解を深めます。

初めての後見人制度

15

黒崎豪夫先生

社会福祉士/介護支援専門員

精神的な問題により、正常な判断が困難な方を援助し、より良い社会参加と選択について支える後見人制度。対人援助職としてその必要性について学びを得ます。

どんな方が対象なのか？そしてその場合はどのように手順を踏めば良いのか？リスクは？

社会福祉士で介護支援専門員の黒崎先生からの講義と質疑応答を行います。

介護のための医学2019

19

仲間直崇先生

中部徳洲会病院/医師・野生のテノール

記念すべき第1回「介護のための医学」を担当して下さった仲間先生がカムバック。

今回は普段測定している「バイタルサイン」から得られる情報をもとに、現場で起き得る急変症状のトリアージについて、救命救急医の立場から楽しく「素敵な声(イケボ)」で講義を進めていただきます。

今後求められる医療と介護の協働への第一歩です。

帰ってきた！介護現場の薬学

17

玉城武範先生

くすりのミドリ/薬剤師・薬学博士

好評を博した介護現場の薬学がグッとパワーアップして再登板。講師はもちろん、玉城先生です。

まるで毎日の食事のように当たり前に、しかし重要な意味を持つ「処方薬」。その重要性や効果、はたまた知っているお薬の知識について、初学者でもわかりやすい内容でレクチャーを行います。

協働！訪問看護！！

21

親泊朝光先生

どりーむ訪問看護ステーション/看護師

地域・在宅生活の医療的ケアを支え、昼夜を問わず安心を届ける訪問看護。病院などの医療機関との調整や、介護保険サービスとの連携が求められ、今後も一層重要な役割と活躍が求められています。

介護の現場で働く我々は今度どのように訪問看護と向き合い、より良い未来を創るのか。

第一線で活躍する訪問看護師から学びます。

ミテカンデノム

18

平良和先生

沖縄吃音研究会/言語聴覚士

人間がその喜びを実感する本能的習慣、「食事」。加齢的变化だけでなく、様々な病気が原因でそれまでの摂食機能が低下してしまうことも少なくありません。

今回は人間の摂食嚥下機能について言語聴覚士の平良先生をお招きし、「摂食」と「嚥下」の二つの機能についての説明と、介護の現場での注意点について学びを得ます。

「人間は、見て、噛んで、飲む」

毎月恒例「参加型」研修会“介護の寺子屋”は18:30開講！！

会場：いきがいのまちデイサービス美里

098-989-3645



宇宙最速の公式情報
いきがいクリエイションLINE公認アカウント

